



桜井勝郎 島田市長



大井川流域にはお茶、温泉、水など素晴らしい資源にあふれている。これから観光や過疎といった対策を図っていくためには、輸送手段としての大井川鐵道（SL）を生かしていくことがとても重要になる。この流域が一体となり、これらの振興を図っていきたい。

佐藤公敏 川根本町長



今回島田市からフェスタ開催の投げかけを受け、実現できたことをうれしく思う。関係市町が今後連携して、温かい住民性とSLを生かしたまちづくりに取り組んでいきたい。どのような観光振興を図っていくか。大井川流域に親しんでもらう方法を考えたい。



4 駅前広場では川根高校郷土芸能部による赤石太鼓が来場者を出迎え 5 音戯の郷敷地内で実施された流しラーメンは多くの親子が楽しんだ。2日目には午後の早い時間に在庫切れとなってしまうほど 6 駅前では本小児童が垂れ幕を持ち、大きな声で各市町首長を出迎えた 7 ステージで繰り広げられたけん玉パフォーマンス

会では千頭駅ホームに大挙としてつめかけた鉄道ファン、アマチュアカメラマン、親子連れなどが3台並んだSLに向かつて一斉にカメラを構えました。3台同時に汽笛を鳴らすと、あまりの大音響に泣き出してしまいう子もいたほど。その迫力に誰もが感嘆の声を上げました。会場に目を戻すと、ステージではパントマイムなどの楽しい演目が続いていました。アフリカ音楽グループと赤石太鼓のスペシャルセッションが時を忘れるかのように鳴り響きました。家族の時間作りを主目的とした本イベント。3日間にわたって、会場内には一緒に買い物をする、木工作品を作ったりする楽しそうな親子の時間が至るところに生まれていました。



SL Zoom up 2 フェスタ 2011

家族触れ合いの時間創出と SLを核とする観光振興の起爆剤として

駅前待ち構えていたクラウン（ピエロなどに扮した人）たちが来場者を会場へと誘導し、1000人近い人波が特設会場へと足を運びました。ステージに目をやると、駅前にはいたクラウンが登場し、道具を使った多彩なショーを繰り広げました。ステージに親子が呼ばれたり、小学生が上がったりするたびに、観客席から大きな拍手。愉快なパフォーマンスに大きな歓声が送られました。2日目のメインはSLサミット。特別列車でSL会議を開いた全国のSL運転線区関係自治体の首長が千頭駅に到着。駅前広場では本川根小の子どもたちが垂れ幕を掲げ、大きな声で「ようこそ川根本町へ」と出迎えました。会場に足を運んだ関係市町の首長がステージに上がり、代表して佐藤町長が、車中で話し合った「SLを生かしたまちづくり」について発表しました。その後小学生も交え、SLの汽笛がこだまする、ふるさと宣言2011が読み上げられ、SLが走る町として各関係市町同士で意識を高めました。午後1時半からわずか10分間だけ実施されたSL大集合撮影会

1 親子で仲良く竹トンボを作る 2 ステージではSLの汽笛がこだまする、ふるさと宣言2011が読み上げられた 3 午後のわずか10分間だけ実施されたSL大集合撮影会